

2年生国語科

☆教科書で紹介されている図書 ■おすすめセット文庫
★作者・筆者紹介に掲載されている図書

| 月 | 単元名 『教材名』(作者名) | 時数 | 主な学習内容 | 参考図書 |
|-------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | じゅんぼんに ならぼう | 1 | ・ゲームをしながら、どうしたら、正確に並ぶことができるのか考える。 | |
| 4 | 詩 1 おはなしを 読み、やくに わかれて 音読しよう 『ふきのとう』(工藤直子) | 10 | ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読する。 ・教材文を読み、感想を交流する。 ・登場人物の行動や会話を整理し、内容をおおまかに捉えて音読する。 ・グループで役割を決めて音読する。 ・グループごとの音読を聞き合い、読み方の工夫について感想を伝え合う。 | ☆『はるがきた』ジーン=ジョン 文 こみやゆう 訳 ☆『はるにあえたよ』原京子 ☆『あ、はるだね』ジュリー=フォリアー 文 金原瑞人 訳 ☆『はるをさがしに』七尾純 ★『こぶたはなこさんのおべんとう』 ★『かぜのこもりうた』 ■E05-1『版画のはらうた』(くどうなおこ) |
| | 図書館たんけん | | ○読書に親しみ、いろいろな本があることを知る。 | |
| | 詩 『はなが さいた』 (まど・みちお) | 2 | ・教科書を手がかりに、春に関わる言葉から想像したことを話したり、自分たちで探したりする。 ・春を感じたときの経験を文章に書く。 | ■E04-12『ちいさなおはなしえほん 新・自然きらら』 |
| 作文 きょうの できごと | 4 | ・日記例から、日記の書き方を捉える。 ・日常生活の中から日記の題材になりそうな出来事をノートに書き出す。 ・題材を選び、時間の順序に沿って日記を書く。 ・友達と読み合っ、よいところを伝え合う。(家の人に読んでもらって感想をもらうのもよい。) | | |
| 5 | 物語 『いなばの白うさぎ』 (中川李枝子) | 2 | ○神話の読み聞かせを聞き、我が国の伝統的な言語文化に親しむ。 ・知っている昔話や神話を出し合い、神話を聞く意欲を高める。 ・挿絵から、どんなお話かを想像した後、教材文の読み聞かせを聞く。 ・お話の内容について話し合う。 ・P40「この本、読もう」を見て、日本各地に、その土地に伝わる昔話があることを知る。 ・自分の住む地方の昔話などに興味をもち、学校図書館などで昔話の本を探して読む。 | ☆『カムイチカブ』藤村久和 ☆『さるとびつき』武田正 再話 ☆『さんまいのおふだ』千葉幹夫 ☆『鉢の木』たかしよいち ☆『一休さん』杉山亮 ☆『ももたろう』松居直 ☆『吉四六さん』寺村輝夫 ☆『うずらのかあさん』ひらたえみこ 岐阜県の民話・各市町村、地域の民話多数あり |
| | 説明文 2 じゅんじょに 気を つけて 読もう 『たんぼのちえ』 (植村利夫) 【じょうほう】じゅんじょ | 10 | ○順序など情報と情報との関係について理解する。 ・教材文を読み、初発の感想を交流する。 ・たんぼぼが、いつ、どんなちえを働かせているのかを捉える。 ・たんぼぼのちえの中で賢いと思うところをノートに書き抜き、思ったことを書き添える。 ・P51「じょうほう」を読み、説明における順序の種類や効果を確かめる。 | ☆『チューリップ』荒井真紀 ☆『花のたね・木の実のちえ2 スミレとアリ』多田多恵子 監修 ☆『たねのずかん』高森登志夫 絵 古矢一穂 文 |
| | 記録文 かんさつ名人になろう | 10 | ○経験したことから書くことを見つけ、必要な事柄を集めたり確かめたりする。 ・生活科の学習などを参考にして、観察するものを選び、メモを書く。 ・メモをもとに観察記録文を書く。 ・観察記録文を友達と読み合い、文章のよいところを伝え合う。 ・P55-56の作例を比べ、続けて記録していくと、変化の様子がよく分かることを理解する。 | ■A12-1~3『ドキドキいっぱい! 虫のくらし写真館』 ■A12-6『学校のまわりの植物ずかん』 ■A12-29~31『そだててあそぼう』 |
| うれしいことば | 2 | ○言葉には、経験したことを伝える働きがあることに気づく。 ・どんなとき、どんな言葉を使ってもうとうれしいかを考える。 ・うれしい言葉の一つを選び、出来事とそのときの気持ちを書く。 | | |
| 6 | 物語 3 お話を 読んで、しょうかい しよう 『スイミー』(レオ=レオニ) | 9 | ○場面の様子に着目して、登場人物の行動を具体的に想像する。 ・初発の感想を書き、交流する。 ・教材文を読み、あらすじを書く。 ・場面の様子が分かる言葉を見つけ、想像したことを話し合う。 ・物語の紹介文を200字程度でまとめる。 ・友達と感想を読み合い、よいところを見つけて伝え合う。 | ☆『さかなはさかな』 ☆『コーネリアス』 ☆『じぶんだけのいろ』 ☆『ひとあしひとあし』 ☆『フレデリック』 ☆『アレクサンダとぜんまいねずみ』 ★『せかいいちのおきなうち』 ★『あいうえおのき』 ■B01-66『レオ=レオニシリーズ 全18冊』 ■B13-2『小学校国語の教科書にでてくる本2年生』 ■B10-7『海外の絵本7』 |
| | 【じょうほう】メモを とる と き | 3 | ・メモの書き方や工夫について確かめる。 ・教室の中で知らせたいことを決め、メモを取る。 ・メモを書くときに気をつけたいことを発表し合い、共有する。 | |
| 7 | こんな もの、見つけたよ 【コラム】丸、点、かぎ | 8 | ○事柄の順序に沿って簡単な構成を考える。 ・P81のメモ例を参考に、見つけたことや周りの人に尋ねて分かったことをメモに取る。 ・メモをもとに組み立てを考える。 ・書く事柄を順序に沿って整理し、構成を意識して文章を書く。 ・書いた文章を読み合い、感想を伝え合う。 | |
| | あったらいいな、こんなもの | 8 | ○話し手が知らせたいことや自分が聞きたいことを落とさないように集中して聞き、話の内容を捉えて感想をもつ。 ・「あったらいいな」と思うものを選んで、絵に描く。 ・友達と二人組で質問し合い、考えを明確にする。 ・グループで発表会を開く。 | |
| | 夏が いっぱい 『みんな』(谷川俊太郎) | 2 | ・教科書を手がかりに、夏に関わる言葉から想像したことを話したり、自分たちで探したりする。 ・夏を感じたときの経験を文章に書く。 | |
| 物語 お気に入りの本をしょうかいし よう 『ミリーのすてきなぼうし』 (きたむらさとし) | 6 | ○読書に親しみ、いろいろな本があることを知る。 ・自分が紹介したい本を選ぶ。 ・P95のメモを例に、紹介するために大切なことを確認する。 ・「ミリーのすてきなぼうし」を読み、おおまかな内容を捉え、すきなところを発表し合う。 ・「ミリーのすてきなぼうし」で、紹介メモを書く練習をし、友達と読み合う。 ・自分で選んだ本で、紹介メモを書く。 ・友達と本を紹介し合い、感想を伝え合う。 | ☆『クレヨンからのおねがい!』ドリュー=デイウォルト 文 木坂涼 訳 ☆『あまがえるりょうこうしゃ』松岡たつひで ☆『どんぐりむらのほんやさん』なかやみわ ☆『わんぱくだんのひみつきち』ゆきのゆみこ ☆『ふしぎなキャンディーやさん』みやにしたつや ★『ぼくネコになる』 ★『わたしのゆたんぼ』 | |
| 詩 『雨のうた』(鶴見正夫) | 2 | ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読する。 | ■B12-1『子どものための詩の本シリーズ』 | |
| 話す ことばでみちあんない | 3 | ○相手に伝わるように、話す事柄の順序を考える。 ・道案内の経験があれば、よかったことや難しかったことを出し合う。 ・みどりさんの道案内のしかたを考える。 ・友達と道案内をし合う。 | | |
| 9 | 説明文 5 読んで考えたことを 話そう 『どうぶつ園のじゅうい』 (植田美弥) | 12 | ○文章の内容と自分の経験とを結び付けて、感想をもつ。 ・教材文の内容を、表に整理してまとめる。 ・読んで考えたことや気づいたことをまとめる。 ・読んで考えたことや気づいたことをまとめる。 ・書いたものを発表し、感想を伝え合う。 | ☆『動物園のひみつ』森 由民 ☆『めざせ! 動物のお医者さん』きむら ゆういち ☆『みんなわくわく水族館』竹嶋徹夫 監修 池田菜津美 文 ■A01-21『密着! お仕事24時』5 ゾウの飼育員の1日(金沢動物園) ■A01-22『キャリア教育支援ガイド お仕事ナビ』6 動物に関わる仕事 |
| | ことばあそびをしよう 『ひいふうみいよう……』 『いちじく、にんじん……』 『ことこ』(谷川俊太郎) 『いろはうた』 折り句や言葉遊びの詩 | 2 | ○長く親しまれている言葉遊びを通して、言葉の豊かさに気づく。 ・「あいうえお」「あかさたな」を音読し、学習内容を確認する。 ・「あいうえお」「あかさたな」を使って文を作り、発表する。 ・言葉遊びの詩を音読する。 | ■E03-2『五味太郎ことばあそび絵本セット』 |

| 月 | 単元名 『教材名』(作者名) | 時数 | 主な学習内容 | 参考図書 |
|---------------|-----------------------------------------------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10 | 物語 1 そうぞうしたことを、音読げきであらわそう『お手紙』(アーノルド＝ローベル) | 12 | ○場面の様子について、登場人物の行動や会話を中心に想像を広げながら読み、声の出し方などを工夫して音読劇をす ・教材文を読み、大まかな内容をつかむ。 ・音読したいところを決め、ノートに書き写して、読み方や動きなどを考えて書き込む。 ・グループで音読劇の練習をして、読み方の工夫や動きについて意見を伝え合う。 ・友達の助言や教師が示したさまざまな読み方を聞き、音読のしかたによって受ける印象が違うことを知り、自分の音読のしかたを考え直す。 ・音読劇を発表し、評価を伝え合う。 ・登場人物が、書いてあることが分かっている手紙を長い間待っていたわけを考えて、話し合う。 | ☆『ふたりはともだち』アーノルド＝ローベル 三木卓 訳 ☆『ふたりは いっしょ』アーノルド＝ローベル 三木卓 訳 ☆『ふたりは いつも』アーノルド＝ローベル 三木卓 訳 ☆『ふたりは きょうも』アーノルド＝ローベル 三木卓 訳 ★『ふくろうくん』アーノルド＝ローベル ★『どろんこ こぶた』アーノルド＝ローベル |
| | 秋が いっぱい『やま』(神沢利子) | 2 | ・教科書を手がかりに、秋に関わる言葉から想像したことを話したり、自分たちで探したりする。 ・秋を感じたときの経験を文章に書く。 | |
| 10 ～ 11 | そだんにのってください | 8 | ○互いの話に関心をもち、相手の発言を受けて話をつなぐ。 ・話題を決める。 ・話し合いのしかたを決める。 ・グループで話し合う。 | |
| 11 | 説明文 2 せつめいのしかたに 気をつけて読み、それをいかして書こう『馬のおもちゃの作り方』(宮本えつよし) | 14 | ○共通、相違、事柄の順序など情報と情報との関係について理解する。 ○事柄の順序に沿って簡単な構成を考える ・「馬のおもちゃの作り方」を読んで、説明の工夫を見つける。 ・自分が紹介するおもちゃでも使えそうな説明の工夫を紹介し合う。 ・説明するおもちゃを決める。 ・説明のしかたを考える。 | ■A16-1『やってみようたのしい伝承あそび』 ■A16-3『ペーパーランド』 ■A16-4『ゲーム&マジックランド』 ■A16-6『新・ゆびあそびシリーズ』 |
| | 作文 おもちゃの作り方をせつめいしよう | | | |
| 12 | 物語 3 自分とくらべて、かんそうを書こう『わたしはおねえさん』(石井睦美) | 10 | ○文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもつ。 ・物語のあらすじを捉える。 ・登場人物と自分とを比べる。 ・いちばん心に残ったところを選ぶ。 ・心に残ったことについて、感想を書く。 ・友達と交流し、学習を振り返る。 | ☆『すみれちゃんのあついなつ』石井睦美 ☆『クリスティーナとおおきな はこ』パトリシア＝リー＝ゴーチ 作 おびか ゆうこ 訳 ☆『とくべつな いちにち』イヴォヌヌ＝ヤハテンペルフ 作 野坂悦子 訳 ☆『せかいでいちばんママがすき』あいはら ひろゆき ★『わたしちゃん』 ★『つくえの下のおい国』 ■B1-24『ガブリエル・バンサン 心がふれあう絵本セレクト』 |
| | お話のさくしゃになろう | 10 | ○自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考える。 ・絵を見てお話を考える。 ・まとまりに分けて、お話を説明する。 ・お話を書く。 ・書いたお話を読み合う。 | |
| | 冬が いっぱい『ゆき』日本童謡唱歌全集 | 2 | ・教科書を手がかりに、冬に関わる言葉から想像したことを話したり、自分たちで探したりする。 ・冬を感じたときの経験を文章に書く。 | ■B01-80『日本の民話えほん第2集』 |
| 1 | 詩 『ねこのこ』(大久保テイ子) 『おとのはなびら』(野呂和) 『はんたいことば』(原田直友) | 2 | ○詩を読んで感じたことを共有する。 ○語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて、詩を音読する。 | ■B12-2『金子みすず詩集・絵本セット』 ■B01-56『五味太郎 四季シリーズ絵本セット』 ■B12-1『子どものための詩の本シリーズ』 ■B12-3『しのえほん』 |
| | 説明文 4 だいじなこばに気をつけて読み、分かったことを知らせよう『おにごっこ』(森下はるみ) 【じょうほう】本でのしらべ方 | 12 | ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有する。 ・P93「本でのしらべ方」を読む。 ・説明のしかたを確かめながら文章を読む。 ・おにごっこや他の遊びについて本を読んで調べ、説明し合う。 ・説明の伝わり方を確かめ合う。 | ☆『世界の子ども遊び』寒川恒夫 監修 ☆『あそべる！たのしい！あやとり』多田千尋 監修 ☆『みんなであそぼう』石井英行 ☆『学校であそぼう！ゲームの達人3 運動場のあそび』武井史郎 |
| | 見たこと、かんじたこと | 6 | ○経験したことや想像したことなどから書くことを見つける。 ・詩の題材を見つける。 ・これまで学習した表現の工夫を使って詩を書く。 | |
| | 楽しかったよ、二年生 | 8 | ○身近なことや経験したことなどから話題を決め、伝え合うために必要な事柄を選ぶ。 ・1年間の学校生活を振り返り、話すことを決める。 ・組み立てを考えて原稿を書き、発表の練習をする。 ・発表し合う。 ・感想を伝え合う。 | |
| 2 ～ 3 | 物語 5 読んで、かんじたことをつたえ合おう『スーホの白い馬』(大塚勇三) 『せかい一の話』北彰介 『ジオジオのかんむり』岸田衿子 | 14 | ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有する。 ・登場人物と出来事確かめ、大体的内容を捉える。 ・お話の世界について想像を広げる。 ・強く心を動かされたところをノートに書き抜き、その理由を書く。 ・感想を交流する。 | ☆『ランパンパン』マギー＝ダフ 再話・絵 山口文生 訳 ☆『チンパンジーとさかなどろぼう』ジョン＝キラカ 作 若林ひとみ 訳 ☆『王さまと九人のきょうだい』君島久子 ☆『とらとほしがき』バク＝ジェヒョン 再話・絵 おおたけ きよみ 訳 ★『長くつしたのピッピ』 ★『小さなスプーンおばさん』 ★『かばくん』岸田衿子 ★『かえってきた きつね』岸田衿子 ■B01 昔話シリーズ多数あり |
| | すてきなところをつたえよう | 12 | ○文章を読み返す習慣をつけるとともに、間違いを正したり、語と語や文と文との続き方を確かめたりする。 ・1年を振り返って、伝えることを決める。 ・手紙を書く。 ・書いた手紙を読み返し、伝えたいことが伝わるように直したり、間違いを正したりして消書する。 ・書いた手紙を交換し合い、返事を書いて相手に渡す。 | |
| 巻末 | 読書 本の世界を広げよう | 上 | ☆『かえるをのんだ ととさん』日野十成 再話 ☆『おおきな きがほしい』さとう さとる ☆『けんかのきもち』柴田愛子 ☆『テスの木』 ジェス＝M＝プロウヤー 文 ながわ ちひろ 訳 ☆『はじめてのキャンプ』林 明子 ☆『しっばいに かんぱい!』宮川ひろ ☆『ガラスのうま』征矢 清 ☆『ありのフェルダ』 オンドジェイ＝セコラ 作・絵 関沢明子 訳 ☆『さかなのたまご』内山りゅう ☆『てのひら かいじゅう』松橋利光 | ☆『やさしいはきいている』藤田 智 監修 岩間史朗 写真 ☆『こんな しっばで なにするの?』 ステューブ＝ジェンキンズ・ロビン＝ページ 共作 佐藤見果夢 訳 ☆『ライフタイム いきものたちの一生と数字』 ローラ＝M＝シェーファー 文 福岡伸一 訳 ☆『さとうと しお』精糖工業会、日本塩工業会 監修 ☆『単位がわかる リトルのえほん』オフィス303 編 ☆『かげ』立花愛子 指導 ☆『へいわって どんなこと?』浜田桂子 ☆『ことばのこぼれ』和田 誠 ☆『なぞなぞのみせ』石津ちひろ ☆『あいうえおのうた』中川ひろたか |
| | | 下 | ☆『番ねずみのヤカちゃん』 リチャード＝ウィルバー 作 松岡享子 訳 ☆『森おぼけ』中川李枝子 ☆『さっちゃんのまほうのて』 たばた せいいち・先天性四肢障害児父母の会・ のべ あきこ・しざわ さよこ 共同制作 ☆『ばあばは、だいじょうぶ』楠 章子 ☆『てぶくろが いっぱい』 フローレンス＝スロボドキン 文 三原 泉 訳 ☆『なんでももってる(?)男の子』 イアン＝ホワイブラウ 作 石垣賀子 訳 | ☆『かわいいこねこをもらってください』なりゆき わかこ ☆『ふゆめがっしょうだん』長 新太 ☆『はがぬけたらどうするの?』セルビー＝ペラー 文 こだま ともこ 訳 ☆『がんばれ! 名犬チロリ』おおき とおる ☆『わるいのは じてんしゃ?』タナカ ヒロシ ☆『りんごかもしれない』ヨシタケ シンスケ ☆『もしも宇宙でくらしたら』山本省三 ☆『わたり鳥』鈴木まもる ☆『わたしたちのたねまき』キャスリン＝O＝ガルブレイス 作 梨木香歩 訳 ☆『えほん七十二候』白井明大 ☆『森のおしゃべり』たに けいこ |